

学生確保の見通しを記載した書類 資料目次

- 資料1 『明治学院大学法学部「グローバル法学科（仮称）」設置構想に関する高校生アンケート調査 報告書』株式会社高等教育総合研究所
- 資料2 「価値ある大学 2016 年版 就職力ランキング」株式会社日経HR
- 資料3 「ワークス採用見通し調査（新卒：2017 年卒）（地域別採用見通し）」リクルートワークス研究所
- 資料4 「大学ランキング 2016」朝日新聞出版
- 資料5 『明治学院大学法学部「グローバル法学科（仮称）」設置構想についての人材需要アンケート調査 報告書』株式会社高等教育総合研究所
- 資料6 「ワークス採用見通し調査（新卒：2017 年卒）（業種別採用見通し）」リクルートワークス研究所

明治学院大学法学部
「グローバル法学科（仮称）」
設置構想に関する高校生アンケート調査 報告書

平成 28 年 3 月

株式会社 高等教育総合研究所

目次

1. 高校生アンケート調査 概要	1
2. 高校生アンケート 全質問項目の集計結果	2
3. 高校生アンケート 集計結果のポイント	5
4. 高校生アンケート 集計結果の分析	9

添付資料

【添付】「明治学院大学法学部 グローバル法学科（仮称）設置構想に関する高校生アンケート調査」用紙	12
--	----

1. 高校生アンケート調査 概要

- ◆調査の目的：本調査は、明治学院大学法学部が平成30年4月設置に向けて構想中のグローバル法学科（仮称）の学生確保の見通しを、大学外の公正な第三者機関により高校生へのアンケートを用いて測ることを目的とする。
- ◆調査期間：平成28年1月～2月
- ◆調査対象：平成30年度の大学入試を受験する可能性が最も高い、平成27年度の高校1年生をアンケートの対象とした。
- ◆調査方法：明治学院大学法学部に入学実績がある全国の高等学校の中で、入学者数と地域を鑑み、66校を抽出し、18校に実施を依頼。実施の了承が得られた9校にアンケートを送付。各校の教員が調査対象である高校1年生にアンケート用紙を配布の上、回答後その場で回収した。
内訳は以下の通り。

グループ	条件	抽出数	実施数
【A】	入学者数が多く（10人以上）、東京都・神奈川県内にある高等学校	6校	3校
【B】	入学者数が少数（5人）で、東京都・神奈川県内にある高等学校	29校	3校
【C】	入学実績があり、東京都・神奈川県を除く関東圏内にある高等学校	31校	3校

- ◆調査内容：アンケート項目は全7問で、全て選択肢式とした。
主な質問内容は、以下の通りである。
『回答者の基本情報（性別・居住地）について』
『回答者の高校卒業後の希望進路について』
『明治学院大学法学部グローバル法学科（仮称）への受験・入学意欲について』
- ◆実施校：9校（実施率 13.6% / 抽出数 66校）
- ◆有効件数：1,619件（回収件数 1,623件 / 有効件数率 99.8%）

2. 高校生アンケート 全質問項目の集計結果

※「構成比」(%) はいずれも、小数第二位を四捨五入。よって、合計は必ずしも 100.0% と一致しない。

2～4 ページは、アンケートで回答を得た高校生 (1,619 人) の回答結果に基づく全質問項目の集計結果である。

問1 あなたの性別を教えてください。(あてはまるもの1つに○)

選択項目	回答数	構成比
1. 男性	656	40.5%
2. 女性	963	59.5%
(無回答)	0	0.0%
合計	1,619	100.0%

問2 あなたの居住地をお答えください。(あてはまるもの1つに○)

選択項目	回答数	構成比
1. 東京都	401	24.8%
2. 神奈川県	734	45.3%
3. 千葉県	22	1.4%
4. 埼玉県	244	15.1%
5. 茨城県	0	0.0%
6. 栃木県	1	0.1%
7. 群馬県	168	10.4%
8. 静岡県	43	2.7%
9. その他	6	0.4%
(無回答)	0	0.0%
合計	1,619	100.0%

問3 高校卒業後の希望進路を教えてください。(あてはまるものすべてに○)

※ 複数回答項目のため、回答数は延べ。

※ 構成比は、回答者 1,619 人のうち、各項目を挙げた者の割合。

選択項目	回答数	構成比
1. 大学への進学	1,554	96.0%
2. 短大・専門学校への進学	128	7.9%
3. 就職	24	1.5%
4. その他	16	1.0%
(無回答)	8	0.5%

問4 興味のある学問分野を教えてください。(あてはまるものすべてに○)

※ 複数回答項目のため、回答数は延べ。

※ 構成比は、回答者 1,619 人のうち、各項目を挙げた者の割合。

選択項目	回答数	構成比
1. 法学	231	14.3%
2. 経済学・経営学	412	25.4%
3. 政治学	121	7.5%
4. 国際学	353	21.8%
5. 文学	317	19.6%
6. 社会学・社会福祉学	145	9.0%
7. 外国語学	344	21.2%
8. 心理学	345	21.3%
9. 教育学	345	21.3%
10. 芸術学	158	9.8%
11. 情報科学・情報工学	89	5.5%
12. 理学・工学	258	15.9%
13. 生命科学	109	6.7%
14. 医学・薬学	224	13.8%
15. 看護学	115	7.1%
16. 農学	67	4.1%
17. 栄養学	130	8.0%
18. その他	91	5.6%
(無回答)	12	0.7%

問5 あなたは「明治学院大学法学部 グローバル法学科(仮称)」を受験したいと思いますか。
(あてはまるもの1つに○)

選択項目	回答数	構成比
1. 受験したい	205	12.7%
2. 受験しない	1,402	86.6%
(無回答)	12	0.7%
合計	1,619	100.0%

以下の問6・問7は、問5で「1. 受験したい」を選択した 205 人が回答対象である。

問6 あなたが「明治学院大学法学部 グローバル法学科(仮称)」に興味・関心をもった理由を教えてください。(あてはまるものすべてに○)

※ 複数回答項目のため、回答数は延べ。

※ 構成比は、回答者 205 人のうち、各項目を挙げた者の割合。

選択項目	回答数	構成比
1. 教育の特徴でもある「異文化理解」「コミュニケーション能力」「法的知識」を身につけることができるから	113	55.1%
2. 将来、国際的な仕事に就きたいと考えているから	117	57.1%
3. 法学部への進学に興味・関心をもっていたから	54	26.3%
4. 以前から明治学院大学への進学に興味・関心をもっていたから	55	26.8%
5. 自宅からの通学が便利だから	18	8.8%
6. その他	7	3.4%
(無回答)	1	0.5%

問7 あなたは「明治学院大学法学部 グローバル法学科(仮称)」に合格した場合、入学したいと思いますか。(あてはまるもの1つに○)

選択項目	回答数	構成比
1. ぜひ入学したい	68	33.2%
2. 合格した場合、併願大学の結果によっては入学したい	135	65.9%
(無回答)	2	1.0%
合計	205	100.0%

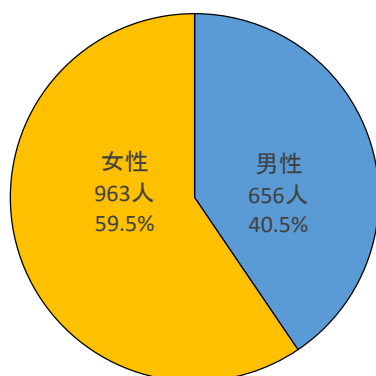
3. 高校生アンケート 集計結果のポイント

※「構成比」(%) はいずれも、小数第二位を四捨五入。よって、合計は必ずしも 100.0% と一致しない。

- 回答者の 6 割が女性、4 割が男性。

回答を得た高校生 1,619 人のうち、男性は 656 人 (40.5%)、女性は 963 人 (59.5%) であった。

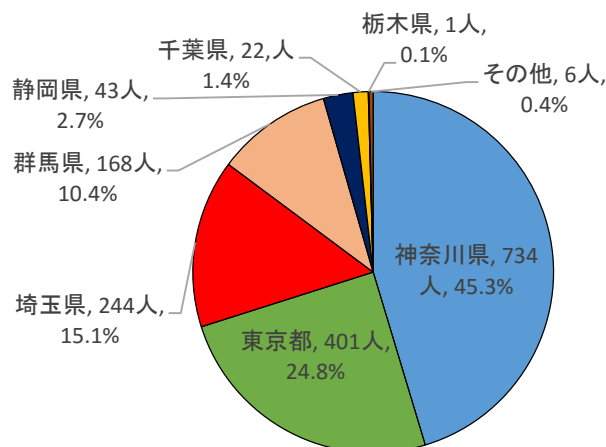
グラフ 回答を得た高校生の性別 (「問 1」結果より)



- 回答者の 7 割が自宅からの通学可能圏内に居住。

高校生アンケートの回答を得た高校生 1,619 人のうち、神奈川県に 734 人 (45.3%)、東京都に 401 人 (24.8%) が回答しており、合計で 1,135 人 (70.1%) が自宅からの通学可能圏内に居住している。

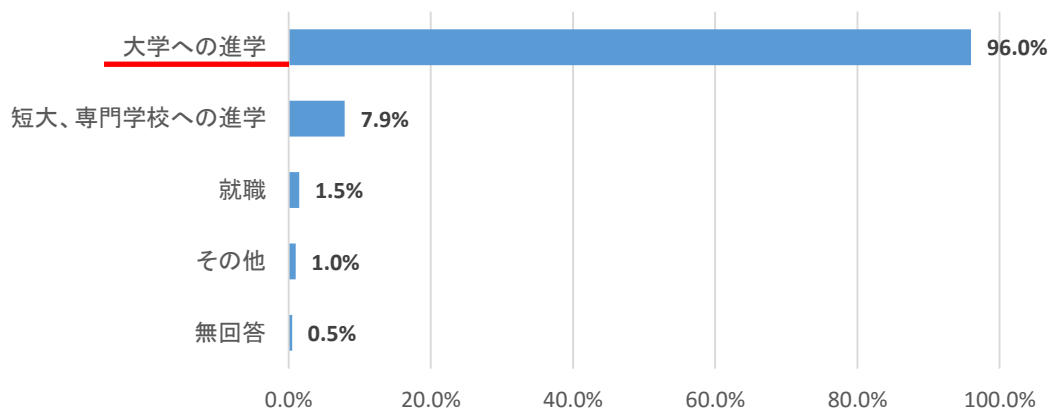
グラフ 回答を得た高校生の居住地 (「問 2」結果より)



● 回答者の9割以上が、高校卒業の進路として大学進学を希望。

回答を得た高校生1,619人のうち、96.0%にあたる1,554人が高校卒業後の進路として「大学への進学」を選択しており、他の選択肢と比較して圧倒的に多い回答数となった。

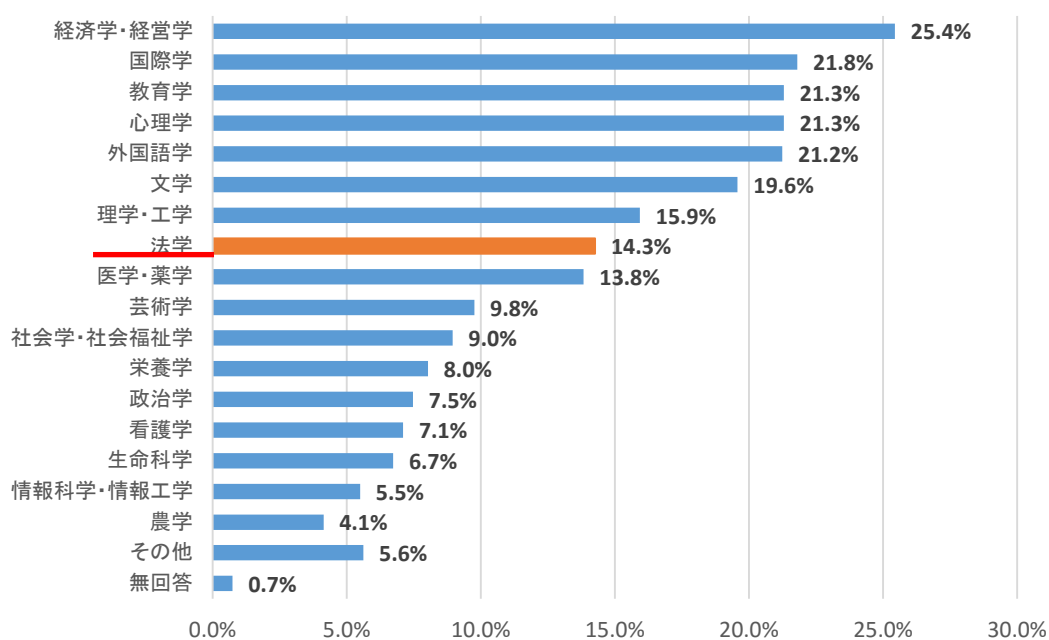
グラフ 高校卒業後の希望進路（「問3」結果より）※複数回答の結果



● 興味のある学問分野として「法学」は7番目に多い結果。

回答を得た高校生1,619人のうち、興味のある学問分野として「法学」を挙げた者は231人（全体の14.3%）おり、設問項目に置いた18の選択肢のうちで7番目に多い結果であった。（複数回答の結果）。

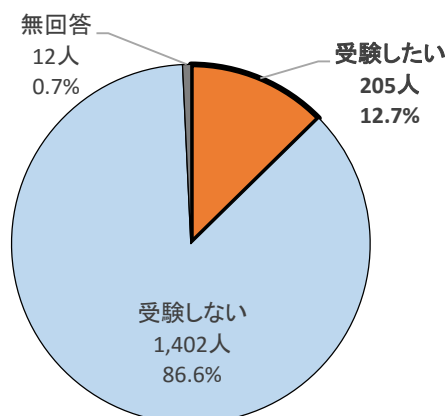
グラフ 興味のある学問分野（「問4」結果より）※複数回答の結果



● 205 人が「グローバル法学科（仮称）」を「受験したい」と回答。

回答者 1,619 人のうち 12.7%にあたる 205 人が、明治学院大学法学部の「グローバル法学科（仮称）」を「受験したい」と回答した。予定する入学定員 65 人に対して 3.15 倍の高校生より受験意欲を示す回答が得られた。

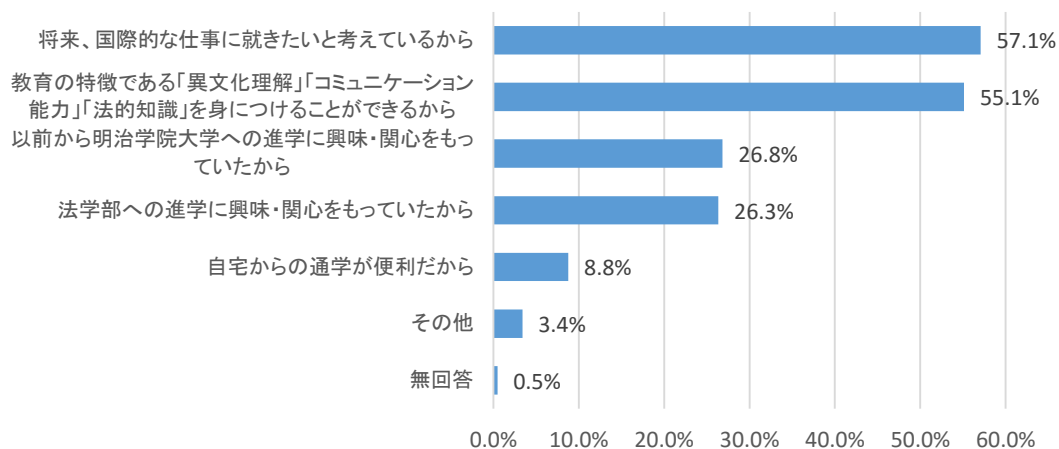
グラフ 明治学院大学法学部「グローバル法学科（仮称）」を「受験したい」高校生（「問 5」結果より）



● 「将来、国際的な仕事に就きたい」に 6 割が回答。

明治学院大学法学部の「グローバル法学科（仮称）」に興味・関心をもった理由として、「将来、国際的な仕事に就きたいと考えているから」に 117 人（57.1%）、「教育の特徴である「異文化理解」「コミュニケーション能力」「法的知識」を身につけることができるから」に 113 人（55.1%）と、上位 2 項目にほぼ同数の回答があった。

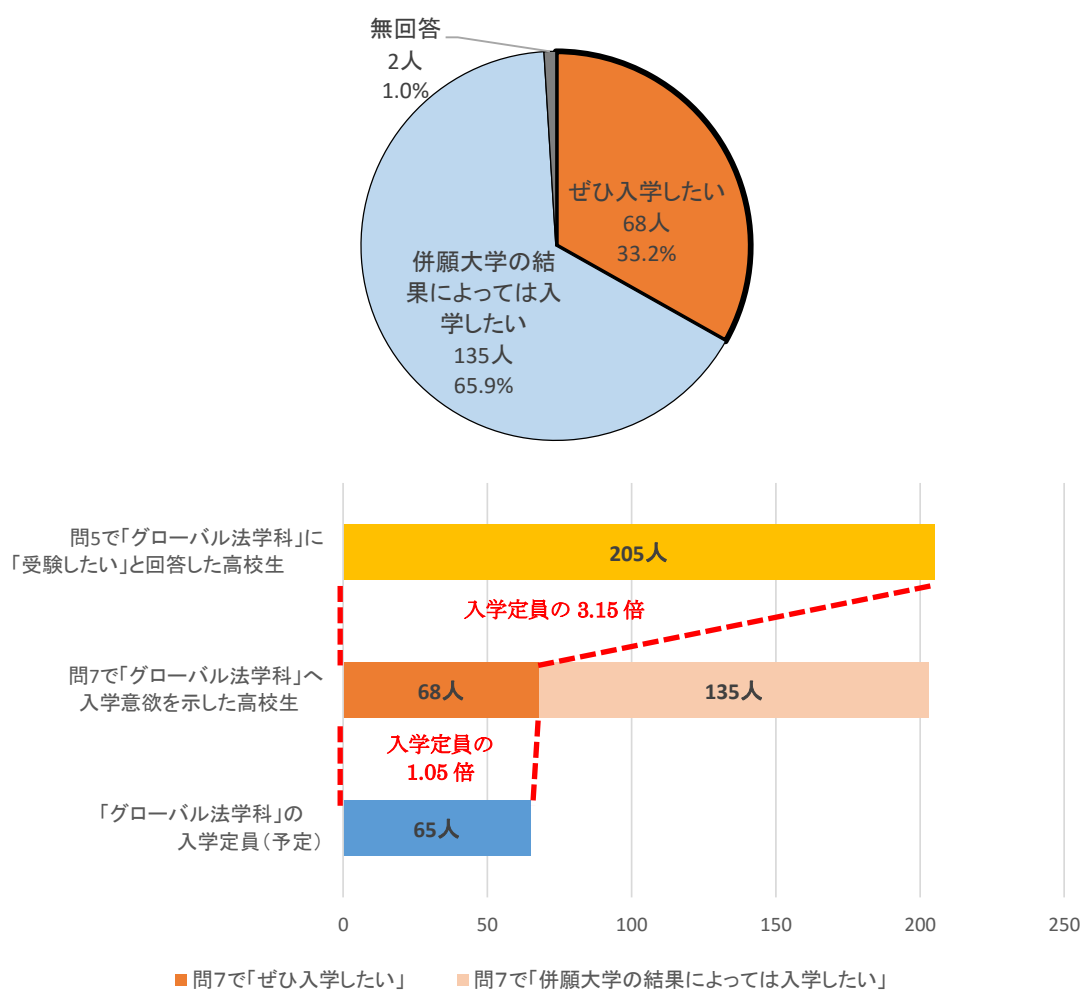
グラフ 「グローバル法学科（仮称）」に興味・関心をもった理由（「問 6」結果より）



● 68人が明治学院大学法学部の「グローバル法学科（仮称）」に「入学したい」と回答。

明治学院大学法学部の「グローバル法学科（仮称）」を「受験したい」とした205人に対し、合格した場合の入学意欲について回答を求めた結果、予定される入学定員65名の1.05倍となる68人が「ぜひ入学したい」と回答、135人が「併願大学の結果によっては入学したい」と回答した。

グラフ 「グローバル法学科（仮称）」への受験・入学意欲（「問6」「問9」結果より）



以上、明治学院大学法学部が平成30年4月に設置構想中である「グローバル法学科（仮称）」の学生確保の見通しは、アンケートの結果、予定する定員を上回る回答を得たため、全く問題がないと判断できる。

4. 高校生アンケート 集計結果の分析

※「構成比」(%) はいずれも、小数第二位を四捨五入。よって、合計は必ずしも 100.0% と一致しない。

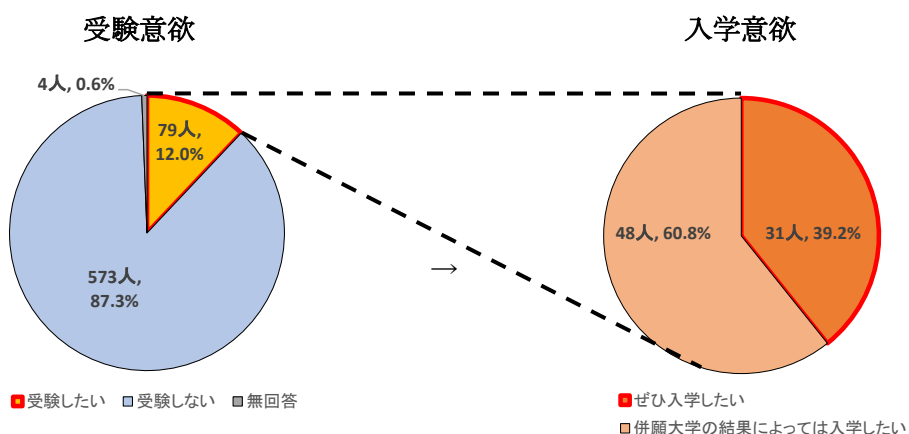
分析① 【男女別】 受験意欲・入学意欲

受験意欲及び入学意欲を男女別に分けたところ、男性の 12.0% (79 人)、女性の 13.1% (126 人) がグローバル法学科を受験したいと回答しており、割合における男女間の差は見られなかった。

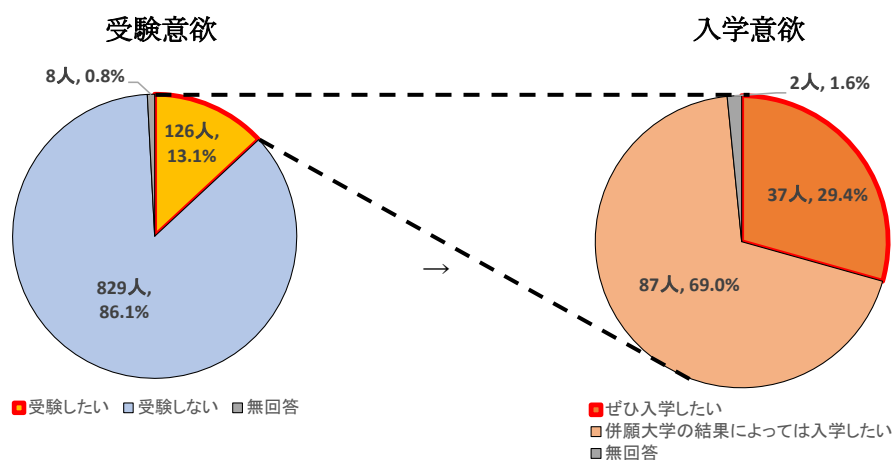
入学意欲については、グローバル法学科を受験意欲を示した男性 79 人のうち 39.2% (31 人) が「ぜひ入学したい」と回答し、一方の女性は 126 人のうち 29.4% (37 人) が「ぜひ入学したい」と回答していることから、グローバル法学科への入学意欲は男性の方が強い傾向がみられた。

グラフ 男女 (問1) × 受験意欲 (問5)、入学意欲 (問7) クロス集計結果より

【男性】



【女性】



分析② 【男女別】興味のある分野（上位5分野） ※受験意欲を示した者と全体の比較

グローバル法学科に受験意欲を示した男性79人、女性126人のみを対象に、興味のある分野（問4）を男女別でクロス集計を行った。その結果、男女共に「経済学・経営学」「国際学」「法学」「外国語学」の4分野が上位を占めた。

男性79人のうち、もっとも多かったのは「経済学・経営学」で、次いで「国際学」「法学」と続き、いずれも半数が回答している。下記表（参考）の男性全体における興味ある分野と比べると、グローバル法学科に受験意欲を示した男性高校生が、「国際学」や「外国語学」に興味を持っていることがわかる。

一方、女性126人は「国際学」と「外国語学」が多く、6割以上が回答している。また、下記表（参考）の女性全体における興味ある分野の上位6項目に入らなかった「法学」が3番目に多かった。

以上のことから、明治学院大学法学部が構想中のグローバル法学科は、「法学」「国際学」「外国語学」「経済学・経営学」を志望する高校生が主な志願者になると予想される。

表 男女（問1）×興味のある分野（問4）クロス集計結果より ※（問5）「受験したい」回答者のみ

【男性】				【女性】			
	選択項目	回答数	割合		洗濯項目	回答数	割合
1	経済学・経営学	43	54.4%	1	国際学	91	72.2%
2	国際学	38	48.1%	2	外国語学	81	64.3%
3	法学	37	46.8%	3	法学	41	32.5%
4	外国語学	24	30.4%	4	経済学・経営学	36	28.6%
5	政治学	22	27.8%	5	文学	34	27.0%
回答者総数		79		回答者総数		126	

表（参考） 男女（問1）×興味のある分野（問4）クロス集計結果より

【男性】				【女性】			
	選択項目	回答数	割合		洗濯項目	回答数	割合
1	経済学・経営学	214	32.6%	1	外国語学	266	27.6%
2	理学・工学	175	26.7%	2	国際学	264	27.4%
3	法学	131	20.0%	3	心理学	240	24.9%
4	教育学	128	19.5%	4	教育学	217	22.5%
5	文学	105	16.0%	5	文学	212	22.0%
	心理学	105	16.0%	6	経済学・経営学	198	20.6%
回答者総数		656		回答者総数		963	

分析③ 【進学実績校別】受験意欲・入学意欲

本アンケートは、明治学院大学法学部への進学実績に応じて 3 つのグループに分け、各グループより 3 校ずつアンケートを実施した。

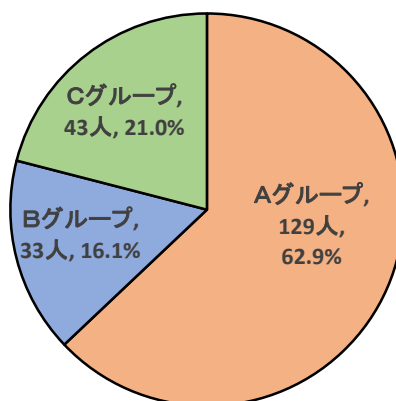
A グループは明治学院大学法学部への入学者が多い、東京都・神奈川県内の高校、B グループは明治学院大学法学部への入学者が少ない、東京・神奈川県内の高校、C グループは明治学院大学法学部への入学者が多い、東京・神奈川県外の高校である。

グループ別における受験意欲は下記表の通りであり、A グループは回答者の 14.5%がグローバル法学科に「受験したい」と回答し、B・C グループの 10%程度に比べ、若干ではあるが高い割合で受験意欲を示した。また、入学意欲への回答においても同様の傾向が見られ、グローバル法学科への志願者は、A グループに属する高校が多くなると予想される。

表 グループ別の受験意欲（問 5）、入学意欲（問 7）結果より

回答者	「受験したい」		「ぜひ入学したい」	
	回答者	割合	回答者	割合
Aグループ (888 人)	129 人	14.5%	41 人	4.6%
Bグループ (332 人)	33 人	10.2%	12 人	3.7%
Cグループ (399 人)	43 人	10.8%	15 人	3.8%

グラフ (問 5)「受験したい」のグループ別内訳



【添付】

「設置構想に関する高校生アンケート調査」用紙

設置構想に関する高校生アンケート調査

現代社会はあらゆる出来事が国際性を帯び、急速なグローバル化が進んでいます。

明治学院大学法学部は、これまで大学の理念「他者への貢献 (Do for Others)」のもと、社会の平和と人々の幸福に貢献する、多くの人材を育成してきました。

このたび、本法学部ではこれまでの学科に加えて、グローバル化する社会の中で実践的なコミュニケーション能力をもって異文化を理解し、法的知識を駆使して様々な分野で活躍する人材を育成するため、「グローバル法学科 (仮称)」を届出設置する予定です (2018年4月開設予定)。つきましては、開設準備にあたって高校生の皆様にご意見をお伺いし、アンケートへのご協力をお願いいたします。なお、回答いただいた皆さんから得られた情報は設置構想に係る統計資料としてのみ活用させていただき、個人の情報として扱うことは一切ございません。

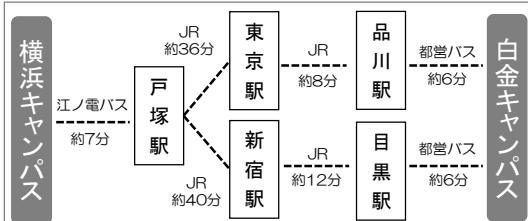
※このアンケート調査は明治学院大学から委託された第三者機関 (株式会社高等教育総合研究所) が実施しています。

下記のグローバル法学科 (仮称) の概要をご覧の上、裏面のアンケートにご回答ください。

学部の概要

設置場所：本学 横浜キャンパス (1・2年次) 白金キャンパス (3・4年次)
 白金キャンパス：東京都港区白金台1-2-37
 横浜キャンパス：神奈川県横浜市戸塚区上倉田町1518
 開設年度：2018年度
 入学定員：65名 (収容定員：260名)

アクセス



養成する人材

明治学院大学法学部グローバル法学科 (仮称) は、次のような力を備えた人材を養成します。

急速に変化するグローバル社会に即応した国際性に富んだカリキュラムのもとで、世界平和と世界正義を実現するためのグローバルな視野を持ち、法律という専門的知識で国内外に発生する様々な事象を分析し、責任感のある行動をとれる「世界市民」を育成します。

教育の特徴

グローバル法学科 (仮称) では、以下のような能力を身につけられるよう教育を行います。

- (1) 異文化理解**
 - ・異質な文化や価値観を互いに対等な立場で理解する能力
 - ・グローバルな視野に立って考え行動する能力
- (2) コミュニケーション能力**
 - ・外国語、日本語を問わず、言語を用いて自らの考えを表現できる能力
 - ・様々なメディアやIT技術を活用して効果的に情報を伝えることのできる能力
- (3) 法的知識**
 - ・グローバルに展開される経済活動、文化活動、政治活動などを法的側面からとらえ、事象を分析し、論点を整理し、法的知識を駆使しながら問題を解決する能力

卒業後の進路

法的知識をもって、国際的な場においても多様な国籍のパートナーと協働していけるような人材の育成を行い、以下のような進路での活躍を想定しています。

多国籍企業 (メーカー、商社、IT産業、金融業等)、日本企業の海外法人、国際機関、NPO/NGO、ジャーナリズム、メディア等
 また、ローカルな場面での国際化が進む現代社会においては、日本国内の民間企業や官公庁・地方自治体等においても、本学科を卒業したグローバル・リーガルマインドをもった「世界市民」が活躍することを想定しています。

初年度納付金 (他大学を含む)

大学名・学部名・学科名 所在地	入学金	授業料	教育充実費等	初年度 納付金総額
明治学院大学 法学部グローバル法学科 (仮称)	200,000	811,000	266,900	1,277,900
上智大学 法学部国際関係法学科 (東京都千代田区)	270,000	698,000	287,450	1,255,450
立教大学 法学部国際ビジネス法学科 (東京都豊島区)	200,000	785,000	291,500	1,276,500
中央大学 法学部国際企業関係法学科 (東京都八王子市)	240,000	776,300	193,100	1,209,400

※明治学院大学法学部グローバル法学科 (仮称) の学費は2018年度予定です。
 ※他大学の各学部・学科の学費は各大学ホームページ掲載情報に基づきます (2015年12月時点)。
 ※各大学とも、上記以外に保険など諸会費が加わる場合があります。

※ 上記は構想中の概要であり、変更となる場合があります。

※著作権者の許諾が得られない書類等

- 1 (書類等の題名)
「価値ある大学 2016 年版 就職力ランキング」
- 2 (出典)
株式会社日経HR
- 3 (引用範囲)
12 ページ「側面別ランキング① 行動力」
13 ページ「側面別ランキング② 対人力」
- 4 (その他の説明)
本学に関する記述を赤枠で囲んだ。

※著作権者の許諾が得られない書類等

- 1 (書類等の題名)
「ワークス採用見通し調査 (新卒 : 2017 年卒)」
- 2 (出典)
リクルートワークス研究所
- 3 (引用範囲)
10 ページ「参考【地域別採用見通し】」
http://www.works-i.com/pdf/151217_saiyou.pdf
- 4 (その他の説明)
特になし。

※著作権者の許諾が得られない書類等

- 1 (書類等の題名)
「大学ランキング 2016」
- 2 (出典)
朝日新聞出版
- 3 (引用範囲)
246, 247 ページ「キャビンアテンダント採用ランキング」
- 4 (その他の説明)
本学に関する記述を赤枠で囲んだ。